

施策4 多様な課題に応じた支援の推進

1 いじめ・不登校の未然防止と対応（教育相談室）

<現状と課題>

不登校児童生徒については、全国と同様増加傾向にあり、大きな課題となっています。引き続き不登校の未然防止対策が必要です。さらに、不登校の原因は多様化しており、個々に合わせた対応が求められています。

いじめ問題についても未然防止、早期発見、早期解決に努めていく必要があります。

<施策の方向性>

- ・児童生徒の不調を早期に認識するため、いじめのアンケートや「ハイパーQ U」を実施し、学校と教育委員会が情報を共有します。
- ・支援が必要な児童生徒への対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関と連携した支援を行います。
- ・新規不登校児童生徒の減少に向けて、学習面でのサポート及び校内での支援体制を充実していきます。
- ・不登校児童生徒が学校に復帰しやすい環境を整えることに努めていきます。

<具体的な取り組み>

- ① いじめアンケートの実施
- ② 年2回のハイパーQ Uによる調査実施
- ③ 小学校中学年への学習支援員の配置
- ④ 校内教育支援室の充実
- ⑤ さわらび学級の機能拡充

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
いじめの解消率	99.6% ※ R3 年度	100%
ハイパーQ Uにおける学級生活満足群※	58.5% ※ R4 年度前期	70%

※学級生活満足群・・・学級内で侵害行為をうけている可能性が低く、ストレスや不安も少ない、自分の居場所を持ち、自分の価値を認められていると思っている集団

2 個々の教育的ニーズに対応した環境整備（教育相談室）

<現状と課題>

障がいの理解や認識の深まりとともに、支援の必要な児童生徒は増加しています。引き続き、学校の特別支援教育体制の充実を図ることや研修等による教員の更なる専門性向上が求められています。また、多様な教育的ニーズに対応したインクルーシブ教育を推進するための環境整備も必要です。

<施策の方向性>

- ・ 障がいの有無にかかわらず、互いを認め合い協働できる共生社会を推進します。
- ・ 障がいのある子の自立と社会参加を見据えて、個々の教育的ニーズに応じた指導や支援が提供できるよう学びを充実させます。

<具体的な取り組み>

- ① ユニバーサルデザインの授業づくりの推進
- ② 特別支援コーディネーターの専門性の向上
- ③ 乳幼児期から学齢期にかけた切れ目のない支援
- ④ 看護師の確保・配置による医療的ケア児への支援
- ⑤ 発達相談支援体制の充実

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
支援が必要とされる児童生徒のスマイルブック所持率	48.5%	50.0

3 個々の教育的ニーズに対応した支援（教育推進課）

<現状と課題>

日本語指導の必要な児童生徒及び保護者は年々増加しています。そのうえ、急な転出入や少数言語で意思疎通が困難な場合が多く学校の負担が増えています。そのため、外国籍等児童生徒相談員による学習支援及び家庭支援等の総合的な支援が必要です。また、経済的な支援を必要とする保護者のために、就学支援制度を周知し、適切な支援をしていく必要があります。

<施策の方向性>

- ・ 特別な教育的支援を必要とする子ども、互いを認め合い協働できる共生社会をめざします。
- ・ 児童生徒に係る様々な課題に対応していけるよう個々の状況に応じた支援に努めます。

<具体的な取り組み>

- ① 日本語指導の必要な児童生徒への個々の状況に応じた支援
- ② 経済的な支援を必要とする児童生徒への支援

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
日本語指導が必要な児童生徒のうち自己肯定感①のアンケートで肯定的に評価した割合（自立・共生・自己肯定感に関する調査）	小学校 86.6% 中学校 88% ※ R3 年度全児童生徒の結果	小学校 88% 中学校 88%

4 学童保育（たじっこクラブ）の充実（教育推進課）

<現状と課題>

全児童に対するたじっこクラブの利用率は上昇しています。令和4年11月現在、待機児童は解消されているものの利用希望者全員が利用できるよう定員の見直しや保育室の増室を検討する必要があります。また、支援を要する児童や外国籍児童等の利用者に対応するため、支援員の質の向上も必要となっています。

<施策の方向性>

- ・保護者の就労支援、子どもたちの居場所づくりとして安心、安全に過ごし学べるたじっこクラブとするため、環境の整備、定員の見直し、支援員の質の向上に努めます。
- ・第3者委員会による事業評価と、民間法人による安定したクラブ運営を提供していきます。

<具体的な取り組み>

- ① 施設面と運用面における受入体制の充実
- ② 支援員の質の向上をめざしたクラブ間の研修や交流の開催及び有資格支援員の増員推進
- ③ 第3者委員会による毎年の適切な事業評価

<計画の成果目標>

成果指標	現状（令和4年度）	目標（令和9年度）
待機児童数	10人/年	0人/年